

病棟内の5 S －しつけをしっかりと－

佐藤 恵梨香 林 沙予 各務 早紀
花村 明里 藤田 なぎさ

要旨：当病棟では、前年度よりカイゼン活動として、5 Sに取り組んできた。前年度のカイゼン活動において、病棟内は整理整頓されたが、その状態が維持されない現状があった。そこで、整理、整頓に加え、清掃、清潔、しつけの3つに焦点を当てて活動を行った。方法として、3分間清掃を日勤始業時に行い、使用するナースカート清掃した。また、3分間清掃の時間を活用し整理、整頓、しつけを行うために目印（赤札）を付け、カイゼン終了後赤札を外していった。介入後、3分間清掃ではスタッフの9割が気持ちよく業務を開始できていた。赤札の実施後、不要な物を一掃し、3定の確立ができたことで「しつけ」を達成することができた。

【はじめに】

当病棟では、前年度よりカイゼン活動として5 Sに取り組んできた。前年度のカイゼン活動において病棟内は整理整頓されたが、その状態が維持されていない現状があった。そこで、整理、整頓に加え、清掃、清潔、しつけにも焦点を当て、カイゼン活動を行った結果を報告する。

【方 法】

1. 3分間清掃の導入：日勤の始業から3分間、日勤者がその日に使用するナースカートを清掃することとした。必要物品の点検、定数、定位置を定め、清掃方法を紙面にてスタッフへ周知した。
2. 赤札を使った5 S：3分間清掃の時間を活用し、病棟内にある不要と思われるもの、定数を見直す必要があるもの、導線を考慮し管理場所を変更する必要があるものに対し、整理、整頓、しつけを行うために目印（赤札）を付け、カイゼン終了後赤札を外すこととした（図1）。病棟内のスタッフ全員が活動に参加できるようチームを作成し、病棟内での

担当エリアを設置した。また、赤札の貼付にはノルマを設定した。回収した赤札はチームごとに模造紙に表示し各チームが何枚赤札を処理したか分かるよう病棟内に掲示した。活動終了後、スタッフへアンケート調査を行った。

【結 果】

1. 3分間の清掃時間は適当であり、導入したことによる業務への支障となることはなかった。清掃の方法をスタッフへ周知することで誰もが同様に清掃を行うことができた。また始業時に物品が揃っていることで、スタッフの9割が気持ちよく業務を開始できるようになったと回答した（図2）。
2. 赤札の改善率は100%であった。「自分の担当場所が整頓されているか意識するようになった」という声など、スタッフ全員が、病棟内の環境に関心を向ける機会になったと回答した。一方で、配置・定数変更で業務が不便に感じるスタッフが3割いた。活動終了後でも、もっと整理できると感じたスタッフは8割いた（図3）。

- 5Sを行うためのツール
- 「もの」の状況を把握し、どうするかを記す
- 担当者・期限を明記し、確実に処理するための目印

| 赤札 | |
|------|---------------------|
| 品名 | |
| 数量 | |
| 使用頻度 | 年・月・週 回使用 / 位使用履歴なし |
| 理由 | 1. 不要 |
| | 2. 不良 |
| | 3. 不明 |
| | 4. その他() |
| 処置部門 | |
| 区分 | 整理・清掃・整頓 |
| 担当者 | |
| 処置期限 | 年 月 日 |
| 処置方法 | 1. 捨ててほしい |
| | 2. 返却 |
| | 3. 別途保管 |
| | 4. 移動 |
| | 5. その他() |

図1 赤札

【考 察】

始業直後に3分間の短い時間で集中して清掃を行うことで気持ちの切り替えができ、業務に支障をきたすことなく活動ができたことが良い結果につながったと考える。また今回の活動を通して、清掃することが習慣化され、病棟内が綺麗に保たれたと思われる。

活動場所を分担することで、自分の担当場所が明確になり活動しやすくなり、赤札の枚数を見やすくすることで競争心、達成感の効果が得られたと推測する。赤札を貼る場所に困ったという意見があったが、毎日赤札を貼り、5Sが進むことで、片づけていく場所が減少したことが要因ではないかと考える。不要なものを一掃し3定が確立できたことにより、「しつけ」が達成された。また、導線、使用頻度を考慮しながら配置することが可能となり、作業効率も上がったと思われる。しかし、配置や定数の変更を不便に感じたスタッフもいたため、変更時に

は、スタッフ全員に周知できる方法を考えていく必要がある。

スタッフ全員で活動に取り組んだことで、各々が責任を持って活動することができ、5Sへの意識の高まりを生み、活動の促進につながったと考えられる。日常的に病棟内の環境に目を向ける機会が増えたことが、スタッフの意識を高める結果となったと考えられ、今後も病棟内の5Sを活発に行える期待が持てる。

【おわりに】

今後の課題として、位置、定数の変更により不便を感じるスタッフが3割程あり、確実な周知方法の検討が必要である。また、スタッフの意識を継続させるために、現在は赤札活動に変わって、3分間清掃の時間に病棟内の清掃を行っている。赤札活動は、年に1回ほど年末頃に期間を決めて行い、病棟内の5Sを継続する活動を続けていく予定である。

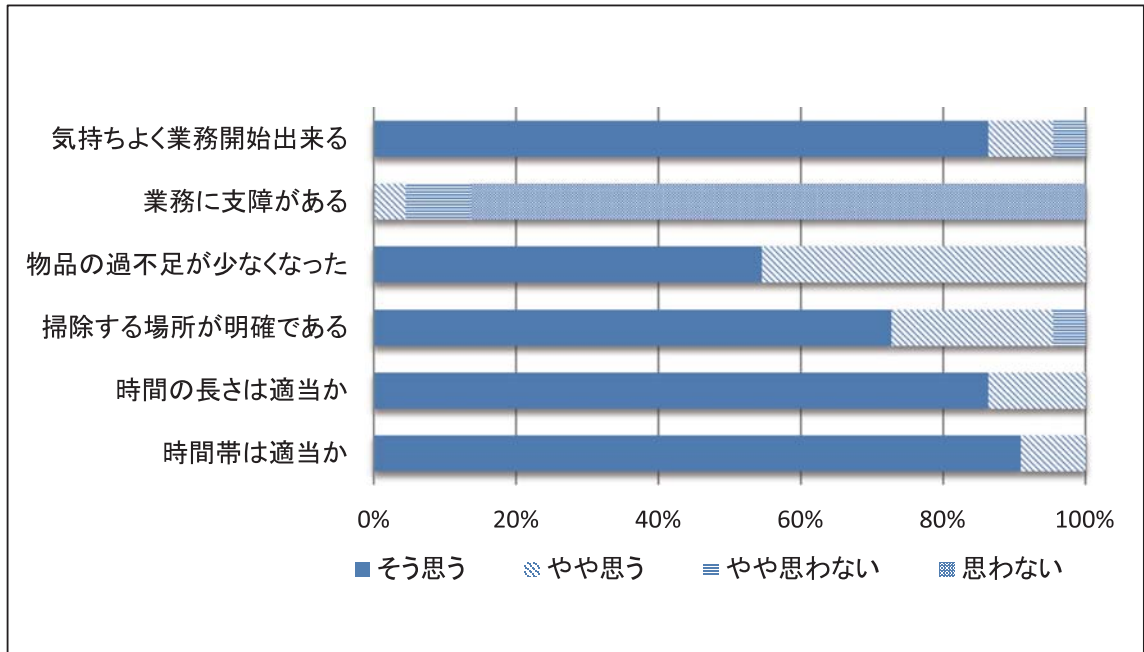


図2 アンケート結果（3分間清掃について）

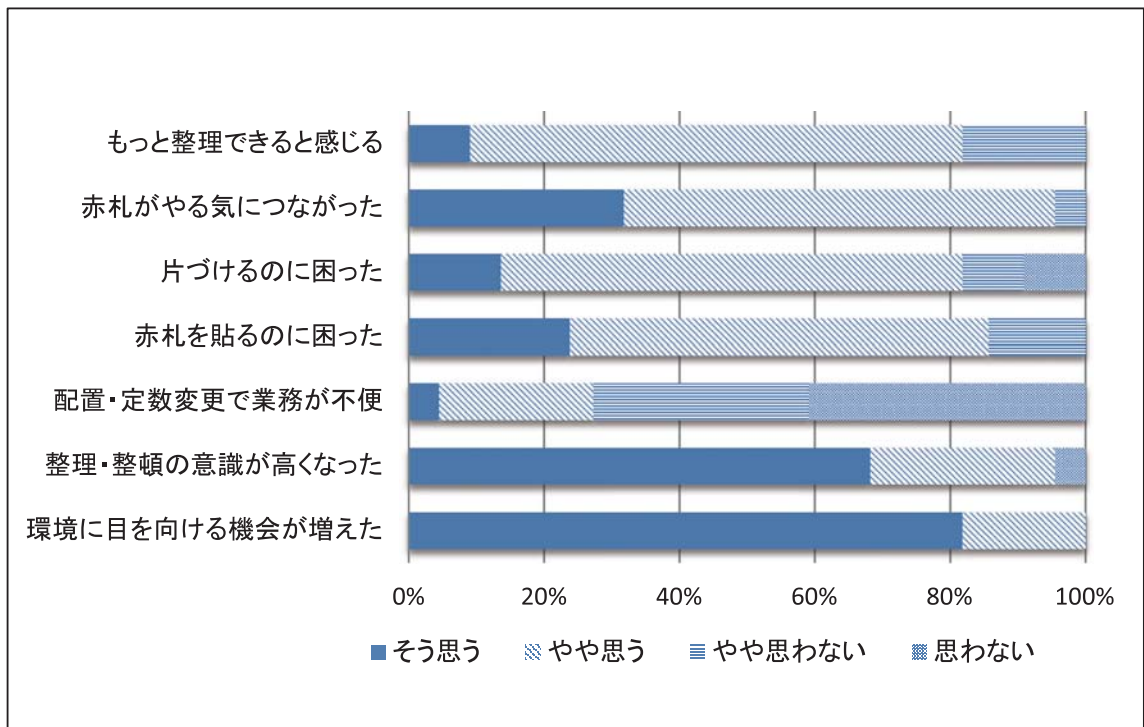


図3 アンケート結果（赤札について）

